



認定通信



春号 H28.5 発行 院内重症心身障がい者看護認定看護師

重症心身障がい者にとって食べることは

口から食べるってとっても大切なことです。口から食べないと、胃粘膜の萎縮や胃出血を起こしやすくなります。しかし、1日1回でも口から食べることで、それを予防することができますとされています。

また口から食べることは生きるためだけではなく、その人の生きがい、楽しみ、コミュニケーションを図るうえでとっても大事なことです。



そんな楽しい食事に危険が伴ってはいけませんよね。患者さんのほとんどの方は、自力で食事をとることができません。したがって介助者が安全を心掛けて食事介助をする必要があります。

では、安全な食事介助ってどんな方法でしょう。時間がない、忙しいから…と大きなスプーンで山盛りにして口に運んでいませんか？ 飲み込む前に、さらに続けて食事を口に入れていませんか？ 飲みやすいはずだからと、お茶のとろみを多くつけていませんか？

介助者が焦っては、患者さんは安全に食事を食べることができません。

私たち院内認定看護師は、今年度の活動として看護職員の皆さんとともに「摂食」について考え、学びを深めていきたいと思えます。

今年度の抱負

認定看護師として、患者さんが安全に生活できるよう勉強会や講義を開催したいと思います。

どんなことでもいいので、認定看護師に声をかけてください。



お知らせ

- ・ H28 年度認定看護師募集中です
- ・ 6月28日（火）第2回「摂食」についての勉強会を行います